

# みなさまからの

# 請願2件を審査

12月会議で審査された請願の結果をお知らせします。

請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき誰でも提出することができます。

請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

**採択**

## 不妊治療への保険適用の拡大を求めめる

◎請願者 公明党津幡支部

津幡地区員 池田 邦三

紹介議員 道下 政博

(賛成14人・反対1人)

**反対**

75歳以上の保険料を倍増する案もささやかれており、健康保険制度の崩壊にもつながりかねない。不妊・生殖医療などを含めた全般的議論を尽くす必要があり、時期尚早である。

西村 稔 議員

**賛成**

自治体任せの助成制度では地域間格差が生じる可能性があり、国が責任を持つべきだ。保険料や対象者など公平性を確保しながら、生殖補助医療を社会全体で支える必要がある。

竹内 竜也 議員

採択された1件の請願は  
意見書を内閣総理大臣ほか  
関係機関に送付しました

**不採択となった請願**

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めめる意見書」の提出を求めめる

◎請願者 原水爆禁止石川県協議会

事務局長 新井田義弘

紹介議員 塩谷 道子

(賛成2人・反対13人)

**賛成**

米国の抑止政策は、文明終焉を招く核戦争を防ぐには不十分だと、ペリー元米国防長官も指摘している。日本人は核廃絶を本気で考えており、条約の批准を諦めるべきではない。

塩谷 道子 議員

委員会の主な意見

米国による核の傘に守られている現実がある。当然、日本も核廃絶の必要性を十分理解しているが、核開発を進める近隣国が存在する以上、条約の批准は別次元として考えるべきだ。

### 総務産業建設常任委員会発議で

### 意見書を国に提出

### 防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求めめる意見書

提出者 総務産業建設常任委員長 道下 政博

(全員賛成)